



各 位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

地域とのパートナーシップによる小水力発電事業の開始 ～ 再生可能エネルギー事業を核とした地方創生のまちづくりの推進 ～

株式会社オリエンタルコンサルタンツは、岐阜県中津川市落合平石地区と密接なパートナーシップを構築し、飛島建設株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：伊藤寛治）との協働による小水力発電事業を開始いたします。

本発電所は、木曽川水系落合川本谷より取水する既存の農業用水路を改修・更新して建設し、発電した電力は、固定価格買取制度に基づき売電いたします。この事業の特徴は、次の3つです。

＜事業の特徴＞

① 地域との密接なパートナーシップの構築

本事業は、調査・計画の段階より、地域の水路管理組合、生産森林組合等とのパートナーシップを構築し、また中津川市の支援を頂きながら検討を進めてまいりました。検討においては、小水力発電所の建設に関する事項を中心としながらも、少子高齢化が進展する地域での交流促進や安全・安心の向上などについても課題を共有させて頂きました。

② 地域に欠かすことが出来ないインフラの保全との両立

本事業は、発電所の建設にあわせ、老朽化した農業用水路等の既存施設を改修・更新します。地域の生活基盤として欠かすことのできない施設の改修を、地域の金銭的負担がゼロで行うことが出来ます。

また、今後の維持管理作業の容易性、安全性向上を考慮した設備を追加して整備し、将来の維持管理における地域の負担を軽減して、地域インフラの保全に貢献します。

③ 100%民間出資による、両社の強みを活かした連携事業

本事業は、その建設・運転費用のすべてを当社と飛島建設株式会社が出資します（出資比 50 : 50）。再生可能エネルギー事業に力を入れるコンサルタント会社、建設会社の両社の強みを活かした企業連携を図るものです。

当社では今後、「地方創生のまちづくり」を念頭において、中山道落合宿などの固有の観光資源を活かした観光・交流の促進や、森林資源を活用した木質バイオマス事業、また防災対策や獣害対策の促進など、総合的なまちづくりの取り組みへと発展させていきたいと考えております。

今後も引き続き民間企業の立場から地域活性化に資する提案を行い、再生可能エネルギー事業を核とした地方創生のまちづくり、持続可能な地域づくり事業を継続してまいります。

＜事業の概要＞

(1) 発電所予定地：

岐阜県中津川市落合字平石（水系：木曽川水系落合川本谷）

(2) 事業内容：

小水力発電事業（建設および運転）

(3) 事業期間：

運転開始（2015 年 12 月予定）から 20 年間（予定）

(4) 事業主体：

飛島建設・オリエンタルコンサルタンツ特定事業共同企業体

本事業の工事概要

- 開水路は、既存の農業用水路と付帯設備を改修整備。昨年11月に工事を開始し水路の一部の入れ替えを完了

上段) 改修前
下段) 改修後



- ヘッドタンク、水圧管路、発電所建屋、余水路等は今年6月に着工。今年11月に水車・発電機を搬入・据付。



上) 発電所完成予想図

下) 内部イメージ
(日本小水力
発電HPより)



本事業を核とした地域活性化への参加イメージ



<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <http://www.oriconsul.com/>

統括本部 三百田、伊藤